# ひらかたヘルパー・通信(第12号)

新年あけましておめでとうございます 旧年中はひとかたならぬ御愛顧を賜りありがとうございます。 本年も引き続き当会の活動に御理解と御協力のほどよろしく お願い申し上げます。

# ~楽集会~

## 第2回目『ヘルパーの専門性について』

2017年8月28日(月)



## 発行年月日 2018年1月 元日

#### 枚方市訪問介護事業者会

会長 今岡 望

広報部:木村・牟田口・二井 事務局:松久保(ぐっどケア内)

> 枚方市出屋敷元町 2-9-1 TEL 072-805-0277

※当会は、現在 119 の事業所が加入して組織運営しています。

まずは自分自身が『ヘルパーの専門性を意識 しながら仕事が出来ているのか』ということか ら口火を切りました。

「今の生活だけを見るのではなく、少し先の利用者の生活を見据えてケアが出来ているか」、「自分の価値観ではなく、利用者の価値観を大切に感じられているか」、「ヘルパーは人間力を高められる職業だと思う」など、専門職としての意識を高め、この仕事に「誇り」と「自信」を持つことが大切と意見交換をしました。

#### 今号の内容は・・・

- 1. 表紙/第2回 "楽集会"の報告/目次
- 2. 第2回「研修会」の報告
- 3. 私たちのまちの事業所紹介「事業所リルー」
- 4. 『第4回介護講習会』の報告
- 5. 『第4回介護講習会』の報告(続き)・感想
- 6. 読者コラム
- 7. ヘルパーの知恵袋 / 第3回 "楽集会" の報告
- 8. 役員の活動紹介 / 案内予告 / 編集後記



## 2017年度・第2回研修会 2017.9.14(木) 「災害がおきたとき、私たちにできるコト」

## ~備蓄食・防災マップの活用~

第一部【防災マップなどについて】

講師: 枚方市役所 危機管理室 西村 隆志 氏、臼井 将之 氏



この研修では、利用者のみならずヘルパーが 被災者に成る可能性をも想定して行いました。

災害マップを活用し「どの様な災害時に、どの地区に住む人が、どこに非難すべきか」を皆で確認しました。参加者から「改めて避難場所の確認と、家族との約束事など確認しようと思う」とのご意見もいただきました。

また「備蓄食は、最低3日分と聞いていましたが、7日分位を用意するのが理想」と学びま

した。しかし、大型災害が起こった際には、枚方市と大阪府からの供給分を合わせても僅か2日分の備蓄食しか確保されていないのが現実。そのため日頃より、災害時の備蓄食と非常時の持ち出し品(お薬手帳や懐中電灯など)を自分たちで準備していかなければならいと感じました。

皆さんもこの機会に、お家や職場での備蓄品の確認をしてみてはいかがでしょうか。



第二部【備蓄食の活用法について】 講師:なごみの里(管理栄養士) 小野 理恵 氏



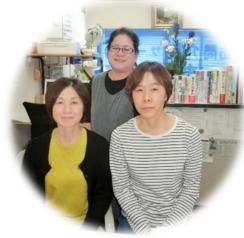
ここでは、備蓄食の活用をして調理や実食の体験を!!

参加者より「ビニール袋で白米が炊けて驚いた」、「野菜ジュースやツナ缶は買っておくと便利で美味しいものが作れることが分かった」、「缶詰を利用して、料理のレパートリーが増えました」、「ローリングストック方の話を聞き、これから備蓄を始めようと思った。」などの声をいただきました。

# 第二弾。事業所リレー

このコーナーでは、枚方市内にある訪問介護事業所にインタビューを行い、紹介をしていきます。 最後には、次のインタビュー先の事業所をご紹介いただく、「**リレー方式**」で紹介しています。 『あなたの事業所』をご紹介いただく日も近いかも・・・。

## 今回は【ホットワーク】のご紹介です



#### Q.ホットワークの名前の由来とは?

A. 「みんなで仲良く、のんびりと、ホットできる場所」です。

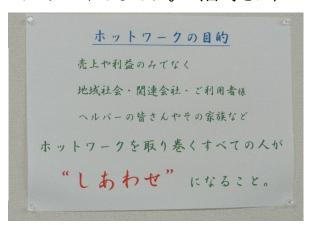
#### Q.サ責のお二人の介護を始めたきっかけ?

A. 子どもの手が離れ、何か学べることがあるのではないかと 思って介護を始めました。ホットワークには 15 年前に登録 ヘルパーからスタートしました。 (箸さん)

元々は保育をしていました。そこから紹介で介護へ。 13年前に登録ヘルパーでスタートしました。(宮崎さん)

#### Q. ホットワークの魅力は?

A. 働きやすい環境。交代要員が必ずいる。他の事業 所からホットワークに来た人は喜んで働いてくれ る。管理者の役割をしている者が男女2人態勢なの で相談しやすい。深夜帯でも電話に出るのでメンタ ル面で安心ができる。





#### Q. ヘルパーさんとの交流は?

A. ケース会議・・・必要時に行う。

しゃべり場・・・月1回、事業所に集まってテーマを 決めずに話をする。

※いつもお茶や昼食を無料で提供しています。

#### Q. 最後に今後の展望は?

A. 若い人(30~40代)が来てくれたら嬉しいです。 (箸さん) 皆でレベルアップが出来たらいいなと思います。(宮崎さん)

お二人に紹介いただきました、 次回の事業所紹介は… 里仁館 さん に伺います



#### ホットワーク

〒573-1105 枚方市南楠葉1丁目1番33号 Tel 072-855-2545 Fax 072-855-1969

# 第4回介護講習会

### ★ 自分の介護技術をみつめ直す機会に ★

さてさて恒例の「介護講習会」も今回で早4回目となりました。

今回は、実践的な事例を用いて、「利用者の心身の状態に沿った介護ができるか」の 視点で、日頃自分たちが行っている「介護のみつめ直し」からスタート。

午前・午後と事例や内容を替えての二部構成で実施し、徹底的に介護を分解、検討、実施、振り返りをしました。その様子を一部ご紹介いたします。

#### ☞オリエンテーションの様子

#### 2017年11月18日(土)



事例の読み込み、ニーズの把握、 課題抽出、具体的な介護の手順を 自分たちで考え実演!

事例検討の様子命









#### 考えた計画で実演(続き)!!

顎の角度は?スプーンの角度は? 次に口に運ぶタイミングは・・・?!





【<br />
ョウンポイントアドバイス】 (介護福祉士: 今岡 望)

#### 【オムツ交換】

前後の高さ調整が苦手という方には、 側臥位(横向き)になった時点で、先 に背中側から股の間を通して前に持っ てきて前後の調整をしてください。 左右は、背骨のラインに沿って中央に

すれば、バランスよく穿けます(\*'▽')



#### 【車イス介助】

フットサポートに足を"快適"に乗せるにはどの ような事に配慮が必要ですか? 利用者の脚のど の辺りを、どの位の力で触れるのか。その時の目 線はどこに置くのが良いか・・・など、確りと意 識したケアを実践していきましょう。

#### ☆ 受講生の声 ☆

- ◎自分達で手順を作成し実演。分からな い所は "詳しく" 教えていただき、理 解できました。
- ◎「基礎や根拠に基づいた介護を行って いきたい」と考えるようになりまた。
- ◎介護の展開方法を理解できました。
- ◎介護技術だけではなく「コミュニケ ーションの大切さ」も学ぶことがで きました。また言葉の重み、深みにつ いても考えさせました。

声掛けや配慮が当たり前のようで 大切なんだと思いました



最後に午後参加の皆さんと記念撮影●

# 読者コラムかの仕事をして学んだこと



\*\* お名前(ペンネーム):

60

**合** 作別:

(玄) · 男

· ハルペーを始めて順もなく、身体(小浴)介助時何回か介助してる時に 利用者こんから(車椅3生治ま及に障がい有)。 介助中に 衣類着る時は不自由 の方がら着て、脱ぐ時は 健康でオカウと、利用者は、ご本人の 4本で教えてF さいました、その時の事 10年以上,経ちままか、教えて下さった方のお額、声など 今もも様子たれられません。

今回も素敵なエピソ - ドの投稿、有難う ございました!!



☆ お名前(ペンネーム):

明るい子

50 an

**☆** 性別 :

- そうじのやり方 ・ ・ 湖理方法 ・ /本の洗み順 など 生活支援では、習慣 その人が長年やってきた。仕方に合めせて、することで、中心されるので感じる。
- 時間を気にして 「改 (のケア) かあるから・・」は 禁句。 平用着込は そんなの、関係ないらい、今の町の時間のけろに集中にはいいと。
- 調理のケイで、酢を使った料理、天成りのはすな)あげなど 台所で指示されて、料理数名のように 教えてもらった

本「用者さんか、 |日も365日と思って大tカバ 生きにはこいと言われた ことかいいにすえています。1日を過ごす時間は3865日分の重めかい あり価値いある。今日は元気に生きていても、明日は病気になったり 生きていてるいか、矢のれてい、今日日の時間は宝野

|日|日も大切に生きていきましょうと木り用者さんより学がまして。



\* お名前(ペンネーム): いっちゃん

**企 性服**:

異数なエピソードをお待もしております♪

★ 5

今のその状況の中での自分の製しみを見つけること。 あまり外出出来ないので、家の中に自分の好きな物を含むをしり 度に大好きな植物を植えたりして家で塩は彩りある 磨らしをしている 利用者さんがいます。「とても素剤文ででなる~0」と いつも 思います。



☆ お名前(ペンネーム):

まめた

40 歳代

☆ 性別:

(女) ·

私の常識と他人の常識はようとゆりこと. 总話を傾聴するとしばはかしずつためる



# ヘルパーの知恵袋

Q1: あなたが思うヘルパーに欠かせないものは?

- ・人生の大先輩であると認識しての対応 ・敬う気持ち
- 思いやりと優しさ

・寄り添う気持ち

- 臨機応変
- ・資格や知識 ・笑顔
- ・技術

- 親しみやすさ
- 会話
- ・利用者を観察すること

- きめ細やかなケア
- 愛情
- ・ 共感力と客観力





- 思いを受け止める。
- ・利用者さんの興味のある話題に触れる
- お天気の話をする
- ・時事情報、ニュースの話をします
- ・話題を多く持つためにも朝刊は必ず読みます
- ・利用者の好みに合わせた話題を提供

## 第3回楽集会「ヘルパーの育成について」

2017年10月27日(金曜日) 18:30より



#### 少人数で学ぶ 新しい学習会(楽集会)を開催中

今回は「なぜ、訪問介護に人は集まらない のか」、「現在ヘルパーの育成や研修にどん な工夫が行われているのか」を起点に、様々 な意見が飛び交いました。

その内容を一部ご紹介いたします。



- 1) サ責の教育のため、3ヶ月に1回、サ責の研修(勉強会)を実施している。
- 2) 職場の雰囲気作りを大事にしている。職員同士が仲良く、何でも話せる環境を整える と、報告に嘘がなくなり、正直に話してくれるので問題の解決も早くなる。
- 3) 指導する者が、目標やビジョンを持ってヘルパーを育成していかなければならない。
- 4) 利用者の生活をコーディネートできるサ責を育てたい。また自分で考えて動けるヘルパーーを育てたい。
- 5) 普段から褒めることが必要。認めると、ちょっとした注意もよく聞いてくれる

#### · · · 枚方市訪問事業者会での役員の活動紹介☆彡その④· ·



2017年12月15日(金) 13:30より

主催: 枚方市・枚方市地域包括支援センター

枚方市介護支援専門員連絡協議会

共催:枚方市デイサービス連絡協議会

枚方市通所・訪問リルビリテーション連絡協議会

枚方市訪問看護ステーション連絡会

枚方市訪問介護事業者会 ← ココ

今年は例年にない、他の連絡会(協議会)とご一緒させていただく機会を何度か頂戴しました。 上記もその一つです。勿論、私たち訪問介護事業者会の役員も参加をさせていただきました。 今後も引き続き、各団体とも連携を深めて行ければと思います。

#### 《案内予告》

#### 1. 介護職の集い ~この仕事でのやりがい~

日時:2018年1月26日(金)18:30~20:30

場所:ラポールひらかた3階 和室 定員:30名(先着順)

締切:1月11日(木)までに別紙申込書記入の上、FAX(072-805-0278)までお申込下さい

#### 2. 研修会「平成30年4月からの介護保険制度改正について」

日時:2018年2月20日(火)18:30~20:30

場所: ラポールひらかた3階 第一研修室 定員:50名(先着順) 講師: 星野 公輔 氏 (株) エス・エム・エス 介護経営コンサルタント

締切 : 2月9日(金)までに別紙申込書記入の上、FAX (072-805-0278) までお申込下さい

#### ≪編集後記≫

年の暮れが迫る 12月22日、政府は 2018年度の予算案(97兆7128億)を閣議決定。 我が国は、超高齢社会の真っ只中にあり、年々増え続ける社会保障費は一般会計の 3割強を占め、全体においては6年連続で過去最大を更新した形となりました。

周知のとおり 2018 年は、「診療、介護、障がい福祉の三報酬の同時改定」が行われます。マスコミでも、介護報酬「0.54%」、障がい福祉「0.47%」の引き上げニュースが取り沙汰されていますが、私たち介護現場は一喜一憂してはいられません。

なぜなら、具体的な改定案に目を向けると、主に訪問介護に関連するものだけでも『現行3割減算の2級サ責は、31年以降廃止へ』、『新たに生活援助中心型のサービス従事者に新たな研修課程の創設』、『処遇改善加算IVとVの廃止(経過措置はあり)』、『身体介護である「自立生活支援のための見守り的援助」の明確化』、『「身体介護」・「生活援助」の報酬にメリハリづけ』、『訪問回数の多いケアプランは市町村に届け出(・・・という名を借りた実質の回数制限)』などが盛り込まれており、サービスに直結する課題は山積みです。

また、この改定の延長線上には勿論「2025年問題」が鎮座しています。

現在、介護人材は枯渇しています。私たち介護福祉士においても就業率はわずか約60%足らず。介護離職も後を絶ちません。そのため目先の報酬や、予算、改定案だけではなく、人材そのものをどう確保していくのかを政府発信の打開策待ちではなく、私たち現場のヘルパーも真剣に考えていかなければならないと痛感しています。 (今岡 望)